

第6回名古屋大学ホームカミングデイ・国際言語文化研究科学術講演会:

## 日本語教育研究のフロンティア

日 時： 2010年10月16日(土)

時 間： 14:15～16:15

場 所： 名古屋大学・文系総合館カンファレンスホール

参加自由・無料

連絡: 玉岡賀津雄(TAMAOKA, Katsuo), ktamaoka@lang.nagoya-u.ac.jp

司会: 玉岡賀津雄 (国際言語文化研究科日本語文化専攻教授)

### 講演 1

条件文のモダリティ制約は存在するのか? —韓国人と中国人のデータ分析から—  
斉藤信浩 (日本語文化専攻博士後期課程平成 21 年度満期退学、名古屋学院大学講師)

### 講演 2

日本語学習者の空間表現使用における簡略化と言語転移  
—韓国語, 中国語, 英語母語話者を対象に—  
蓮池いずみ

(日本語文化専攻博士後期課程平成 20 年度修了、名古屋外国語大学非常勤講師)

### 講演 3

中国人日本語学習者の誤用に関する一考察  
杉村泰 (国際言語文化研究科日本語文化専攻准教授)  
稲垣俊史 (国際言語文化研究科日本語文化専攻准教授)

### 講演 4

日本語学習者のメンタルレキシコンにおけるフレーザル表現習得の位置づけ  
玉岡賀津雄 (国際言語文化研究科日本語文化専攻教授)